

岩宿博物館企画展図録 ミュージアムショップ取扱い一覧



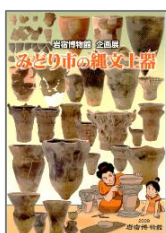
第 45 回企画展 『みどり市周辺の鉱業遺産』

古代の鉄生産、近世の足尾銅山関連資料、近代のマンガン鉱山など、みどり市の鉱業に関する歴史を振り返りました。【A4 版,30 頁,2008 年。400 円】



第 46 回企画展 『縄文ムラができるころ』

市内にある稲荷山遺跡発掘 30 周年を記念し、縄文時代の集落ができる前期に焦点をあてた内容です。【A4 版,46 頁,2008 年。500 円】



第 47 回企画展 『みどり市の縄文土器』

市内で発見された縄文土器の優品を一堂に集め、展示しました。【A4 版,40 頁,2009 年。500 円】



第 49 回企画展 『岩宿遺跡を学ぶ』

歴史の教科書で岩宿遺跡がどのように扱われてきたか、その変遷を辿ります。【A4 版,36 頁,2010 年。400 円】



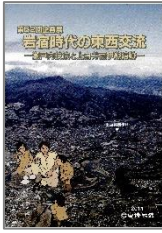
第 50 回企画展 『群馬の岩宿時代 PartⅡ』

群馬県における岩宿時代の最新資料を集成して展示しました。【A4 版,48 頁,2010 年。500 円】



第 51 回企画展 『みどり市ゆかりの考古学者』

みどり市周辺の考古学とも縁の深い岩澤正作、藺田芳雄、尾崎喜左雄、松島栄治の 4 名について紹介しています。【A4 版,32 頁,2011 年。400 円】



第 52 回企画展 『岩宿時代の東西交流－瀬戸内技法と上白井西伊熊遺跡－』

群馬県上白井西伊熊遺跡から発見された、瀬戸内技法の石器群と東日本の関連資料を展示しました。【A4 版,48 頁,2011 年。600 円】



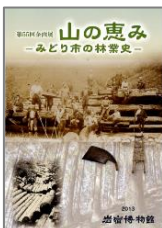
第 53 回企画展 『醸造の文化史－みどり市の酒・醤油－』

みどり市の酒・醤油に焦点を当て、醸造の歴史・技術・文化等を紹介しています。【A4 版,40 頁,2012 年。500 円】



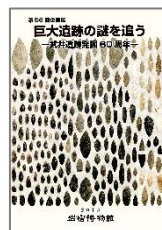
岩宿博物館開館 20 周年記念 第 54 回企画展 『人が動く、時代も動く－東日本の細石刃文化を追う－』

縄文時代直前における東日本の石器作りをみる中で、この地域の文化や人の動き、時代の変化を浮き彫りにします。【A4 版,52 頁,2012 年。600 円】



第 55 回企画展 『山の恵み－みどり市の林業史－』

みどり市の材木生産や炭焼きに焦点を当て、みどり市の林業史を紹介しました。【A4 版,40 頁,2013 年。500 円】



第 56 回企画展 『巨大遺跡の謎を追う－武井遺跡発掘 60 周年－』

槍先形尖頭器が大量に出土した、桐生市武井遺跡の謎に迫ります。【A4 版,52 頁,2013 年。600 円】



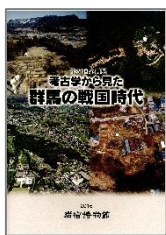
第 59 回企画展 『戦後 70 年 戦時下の記憶とくらし』

戦後 70 年を機に、みどり市内の戦時資料から激動の時代を振り返り、平和への祈りとします。【A4 版,38 頁,2015 年。500 円】



第 60 回企画展 『二上山麓の考古学－香芝市の歴史と文化財－』

2014 年に連携協力協定を締結した、二上山博物館のある奈良県香芝市の文化財などに触れています。【A4 版,52 頁,2015 年。600 円】



第 61 回企画展 『考古学から見た群馬の戦国時代』

群馬県の戦国時代を考古学の視点からわかりやすく紹介しています。

【A4 版,43 頁,2016 年。600 円】



第 62 回企画展 『ナイフ形石器－発達期の石器群を追う－』

岩宿時代を代表するナイフ形石器の、最も発達した時期と石器について

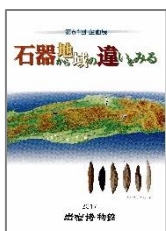
焦点を当てました。【A4 版,52 頁,2016 年。600 円】



第 63 回企画展 『方形周溝墓の世界』

群馬県内の方形周溝墓から出土した資料を中心にご紹介します。【A4

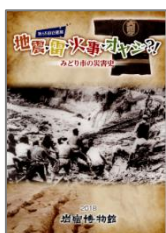
版,43 頁,2017 年。500 円】



第 64 回企画展 『石器から地域の違いをみる』

岩宿時代の関東地方と新潟地方の石器群における、はっきりとした地域

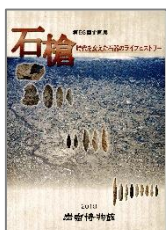
性の違いを説明しました。【A4 版,53 頁,2017 年。600 円】



第 65 回企画展 『地震・雷・火事・オヤジ?!－みどり市の災害史－』

弘仁 9 年の大地震をはじめとする、みどり市の災害史について触れま

す。【A4 版,38 頁,2018 年。500 円】



第 66 回企画展 『石槍－時代を変えた石器のライフヒストリー－』

縄文時代草創期を代表する石槍に焦点を当てました。【A4 版,54

頁,2018 年。600 円】



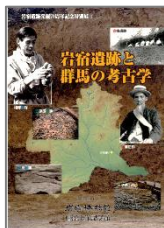
第 67 回企画展 『地中からのメッセージ-遺跡から読み解く”みどり市”の歴史-』

2019 年に発掘から 70 周年を迎える岩宿遺跡と、ガイダンス施設の完成によって注目の集まる西鹿田中島遺跡を中心とする、みどり市内の遺跡について紹介しています。【A4 版,38 頁,2019 年。500 円】



岩宿遺跡発掘 70 周年記念特別展(2) (第 69 回) 『岩宿遺跡と日本の近代考古学』

1877 年の大森貝塚の発掘に始まる科学的な近代考古学。大森貝塚や弥生町の土器など、日本の近代考古学史上、重要な遺跡の資料とその研究の進展を追うとともに、岩宿遺跡のもつ考古学および歴史研究における意義や重要性を再確認します。★石川日出志先生の特別寄稿入り【A4 版,43 頁,2019 年。600 円】



岩宿遺跡発掘 70 周年記念特別展(3) (第 70 回) 『岩宿遺跡と群馬の考古学』

地元群馬県の考古学研究を振り返るとともに、岩宿遺跡や相澤忠洋さんの活動を、群馬の研究の中で位置付け、その意義をみるものです。【A4 版,43 頁,2020 年。600 円】



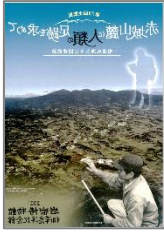
第 71 回企画展 『華開く！ ぐんまの縄文文化』

縄文時代中期中頃から後半は最も装飾性豊かな土器が作られた時期であり、新潟県の火焰型土器は代表格といえるでしょう。しかし、その近くにある群馬県内の焼町土器など、彫りが深く文様が際立った素晴らしい土器があることはあまり知られていません。これまであまり取り上げられてこなかった、群馬県内出土の中期の縄文土器に焦点をあてました。★山口逸弘先生の特別解説入り【A4 版,44 頁,2020 年。600 円】



第 72 回企画展 『岩宿時代の円】形のムラー環状ブロック群 Part II-』

関東地方のうち、環状ブロック群が特に集中して発見されている北西部の群馬県や南東部の下総台地にある遺跡を取り上げ、環状ブロック群を見直すことで岩宿時代のムラや人々の関係や、移動、そして当時の社会について考えます。【A4 版,44 頁,2020 年。600 円】



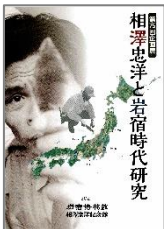
第 73 回企画展 『赤城山麓に人類の足跡を求めてー相澤忠洋とその関連遺跡ー』

相澤忠洋さんの調査した遺跡の全貌について、相澤さんが追いかけた遺跡の具体像を確認していきます。さらに相澤資料を具体的に展示し、その整理作業についても紹介しました。【A4 版,30 頁,2020 年。500 円】



第 74 回企画展 『岩宿人の暮らしを調べる』

岩宿時代(旧石器時代)の人々はどのような暮らしをしていたのでしょうか？また、そもそも暮らしを調べるにはどのような方法があるのでしょうか？研究者が岩宿人の暮らしをどのように復元してきたかを多くの写真と共に紹介します。【A4 版,51 頁,2,021 年。600 円】



第 75 回企画展 『相澤忠洋と岩宿時代研究』

相澤さんの岩宿時代研究は主な研究フィールドである赤城山南麓だけでなく、岩手県から長崎県にまで及んでいました。相澤さんの研究的関心がどのように広がっていったのか、その足跡をたどります。【A4 版,30 頁,2021 年。600 円】



第 76 回企画展(岩宿博物館開館 30 周年記念特別展) 『東北地方岩宿時代研究のパイオニア 加藤稔の研究業績』

岩宿時代研究初期から昭和 40 年代にかけて、東北地方の考古学研究をリードした加藤稔。山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館の協力の元、その生涯や文書資料などを紹介します。★渋谷孝雄先生の特別寄稿入り【A4 版,48 頁,2022 年。600 円】



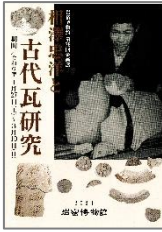
第 77 回企画展 『郷土カルタの世界』

群馬県で長年愛されてきた「上毛かるた」の誕生経緯や、版による違い、県内の主な郷土カルタを取り上げ、各カルタの読み札・絵札を全て掲載しました。【A4 版,48 頁,2023 年。600 円】



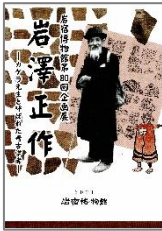
第 78 回企画展 『岩宿Ⅱ石器文化からみた関東地方』

約 2 万 5 千年前の岩宿Ⅱ石器文化と関東地方の石器群に焦点をあて、北・南の地域性の違いから、当時の自然災害を含む環境変化とその影響を受けていたと予想される当時の生活について考えます。【A4 版,48 頁,2023 年。600 円】



第 79 回企画展 『相澤忠洋と古代瓦研究』

相澤さんは岩宿遺跡の発見者として著名ですが、みどり市周辺の古代瓦研究も進めていたことはあまり知られていません。みどり市周辺にある古代瓦を焼いた窯跡や相澤さんの研究成果について、相澤忠洋資料の研究成果も一部交えてご紹介します。【A4 版,32 頁,2024 年。500 円】



第 80 回企画展 『岩澤正作-カケラ先生と呼ばれた考古学者-』

みどり市ゆかりの考古学者・岩澤正作について、県立大間々高校の前身にあたる共立普通学校での活動、博物学や考古学における成果などを交えながらその生涯を辿っていきます。【A4 版,32 頁,2024 年。600 円】



第 81 回企画展 『縄文時代の始まりと洞窟遺跡』

岩宿時代はいつまで続いたのか、縄文時代はいつから始まるのか。その大きな問いに対して、洞窟遺跡の調査と研究は大きな成果を上げてきました。2024 年に国の特別史跡に指定された福井洞窟の資料を筆頭に、岩宿時代の終わりと縄文時代の始まりを見つめなおします。【A4 版,48 頁,2025 年。600 円】

※第 49 回、57 回、58 回、68 回の企画展図録は完売いたしました。